

# たんぽぽ



## 2017年春 新人看護師



2017年  
4月

85号



### 地域連携室のイメージ花「たんぽぽ」

たんぽぽの花ことは「真心の愛」「明朗な歌声」幸福を知らせる花、綿毛が地域連携の歌声です。自ら風のにり、地域の中に飛んでいき、地域に医療連携の種子を広げていく…そんな思いを込めた広報紙です。

#### 【病院理念・方針】

いつでも誰でも安心してかかれる中央病院  
常に使命感を持ち協調して行動する中央病院

- 一、 医の倫理と良心に従い、より良い医療の提供と医療安全に努めます。
- 一、 患者さんの生命の尊厳と権利を尊重し、患者満足度の向上に努めます。
- 一、 地域の中核病院として関係する地域医療・福祉機関との連携に努めます。
- 一、 経営の健全化と職員満足度の向上に努めます。

#### 地域医療支援病院



**宇部興産中央病院**  
地域連携室

宇部市大字西岐波750番地  
TEL(0836)51-9421

# 総合診療科について



総合診療科  
松本 翔子 医師  
2010年 山口大学卒業  
家庭医療専門医  
家庭医療指導医

総合診療科にはいろいろな患者さんが受診されます。風邪やワクチンの相談、原因がよくわからない発熱、施設で生活している高齢の方の急な病気、気分の落ち込みや何年も続く症状を調べてほしい、などです。

私たち総合診療科の守備範囲は臓器で区切られていません。感染症や生活習慣病など多くの人が罹患する病気（よくある疾患）をみるトレーニングを受けてます。また、どの専門科にかかればいいかわからない症状について原因を調べていくこともあります。

病気の予防にも関わります。外来では必要なワクチンを進めたり、がん検診をきちんと受けているかをチェックしたりします。煙草を吸う方には禁煙をお勧めしますし、お酒を飲みすぎているかお話を聞くこともあります。



家族の問題や精神的な問題にも必要に応じて対応します。患者さんの健康状態にはご家族の状況が深くかかわっていることがあります。病気そのものに加え、ご家族の関係や仕事などの状況をお聞きして、問題に取り組むこともあります。

総合診療科を受診されたときに専門的な検査や治療が必要な場合には各科の専門医の先生方に紹介をして、診ていただきます。



高齢化が進み、病院に入院する必要がある方も高齢の方が増えています。例えば高血圧や心臓病、骨粗鬆症、癌の治療後など多くの問題を抱えた人が急病になるということがあります。多くの問題を抱える患者さんの治療を行い、病気が改善した後には自宅での生活に戻るための援助も行います。

このように総合診療科は臓器や疾患を限定せずに幅広い健康問題に対応できることを目指しています。ご自分の症状をどこに相談していいかわからなかったら総合診療科を受診してみてください。



# 宇部興産中央病院 シンボルマークコンセプト

2015年10月に当院が「医療法人社団 宇部興産中央病院」になったことを機にシンボルロゴマーク制定に向け準備してきました。このたび院内多数の応募の中から決定しました。ポスターや配布資料のロゴマークは順次変更いたします。

## デザインのコンセプト

宇部 (UBE) のUと 興産 (KOHSAN) のKOを組み合わせ、Oの中に宇部市の市木「くすのき」を入れました。since 1953は、1953年 宇部興産中央病院 設立

くすのきの枝は当院の病院方針

- 「一、医の倫理と良心に従い、より良い医療の提供と医療安全に努めます。」
- 「一、患者さんの生命の尊厳と権利を尊重し、患者満足度の向上に努めます。」
- 「一、地域の中核病院として関係する地域医療・福祉機関との連携に努めます。」
- 「一、経営の健全化と職員満足度の向上に努めます。」

の4項目に、

「一、全ての人に対しての安心と愛」

を足して、5つの枝に託して、中央に配置いたしました。



くすのきは大樹へと成長するため、神社仏閣でご神木として植樹されており、古代より防虫、鎮痛剤として用いられていました。

シンボルロゴマークには「これからもすくすくと成長して、大きな大樹となるよう前進する」という意味をこめております。

## 2016年度CS発表大会 開催

宇部興産中央病院では17の職場で患者さん満足度向上を目標に活動を行っています。

活動報告として、2017年2月23日(木)にCS発表大会を開催致しました。

2016年度は、医事課、看護部、リハビリ、栄養管理室、健診センターの5部署が1年間の活動を発表しました。

結果は院長賞が医事課、副院長賞が健診センター、CS委員長賞は栄養管理室が受賞しました。看護部とリハビリは努力賞でした。

活動内容は、医事課は花壇の整備、美化活動。健診センターは健診者の快適な受診提供を目標に活動しました。

また、栄養管理室は食事改善のため、他部署スタッフによる病院食の検食を実施しました。どの部署も毎年工夫をしながら患者さん満足度向上を目標に取り組んでいます。

CS活動は今後も継続し、地域の皆さまに親しまれる宇部興産中央病院を目指します。



発表されたみなさん

## 新棟のイメージビデオ放映について

2016年2月に着工した新棟は計画どおりに工事が進捗しております。

稼働は、当初の予定より前倒して2017年11月に稼働する予定です。2月中旬より支払窓口の後方の掲示板前で、新棟の内部の様子をイメージビデオで放映しています。新館の玄関に救急車が到着し、内部がどのような構造になっているかをご紹介します。(約7分間 午前中のみ放映です。)



## FMきららカップ第34回 宇部駅伝競走に当院から5チーム出場

2月5日(日)に第34回宇部駅伝競走大会が常盤湖周回コースで開催されました。

我々の出場する一般2部は昨年とほぼ同数の125チームの参加がありました。前日の雨で当日はグラウンドがぬかるみベストなコンディションではありませんでしたが、今回はこれまで宇部興産中央病院から出場していたチームがチーム名を「チーム ニシザキ」に統一して5チームが参加、またオレンジ色のTシャツも新調して中央病院が一丸となって、選手の皆さんは各人それぞれに精一杯、激走しました。院長先生もオレンジ色のTシャツを着て沿道で応援していただきました。また、夜の打ち上げでは西崎先生から、来年は1チームでも30位以内を目指そう! の挨拶で選手と応援者と一緒に昼以上の激走で大盛り上がり、楽しいひとときを過ごしました。



## 第3回 宇部興産中央病院文庫 贈呈式開催 《平成29年3月9日(木)》



看護部は地域貢献活動として、看護学校に希望図書のご贈呈事業を開催し、3年目となりました。

今年度は宇部フロンティア大学人間健康学部看護学科、宇部看護専門学校専門課程看護科、YIC看護福祉専門学校看護学科、山口県鴻城高等学校看護専攻科の4校が対象。各学校から選ばれた学校大使さんは、院長、経営管理部長、看護師長が見守る中、末永看護部長から図書の目録を授与され、学校大使さんからは「図書を活用し、しっかり勉強に活かします」と、頼もしい言葉を述べられました。



この宇部興産中央病院文庫には『“キラリ輝く看護の花”の開花のために、しっかり栄養を蓄え大きくつぼみを膨らませてください。そして“看護の花”を咲かせるお手伝いを私達にさせてください。一緒に花を咲かせましょう』という看護部の思いが込められています。

### ご挨拶

副院長 西崎 隆文 医師



4月から副院長を拝命しました。

患者さんのため、また病院の発展のために邁進して参りますので、今後ともよろしくお願いたします。

### ピアノミニコンサートのお知らせ

宇部在住の方にグランドピアノを寄贈していただいたのを機に、東病棟8階の展望レストラン コスモにて毎月1回ピアノミニコンサートを開催していきます。

お披露目コンサートは6月24日(土) 14時より約1時間程度です。

7月からは月1回ボランティアを募り、癒しの空間で入院患者さんや地域の皆さまに穏やかな時間を過ごしていただきたいと思います。入場は無料です。

お気軽にお越しください。

### 異動のお知らせ



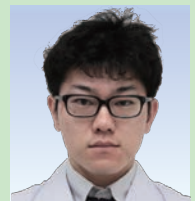
#### 異動

〇整形外科 三原 惇史 医師

#### 新任医師



脳神経外科  
大野 真知子 医師



整形外科  
永尾 祐治 医師



総合診療科  
下川 純希 医師



総合診療科  
多原 加奈 医師



脳神経外科  
島袋 太一 医師

発行：宇部興産中央病院 地域連携室 0836-51-9421

印刷：  
重度障害者多数雇用事業所  
(有)リベルタス興産



文化庁登録第17298号の1